

今年度の特記事項

1. 3か年計画の初年報告（経営基盤の安定化）

前年度末の新型コロナウイルス感染症のクラスター発生により、今年度4月の実績が特養（71.1%）、短期（49.0%）通所（59.7%）とかなり厳しいスタートとなった。特養については毎月5名の新入所者を迎え入れ、9月までに満床達成を目標とした。しかし7月末から8月中旬の間に再度、新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し一時停滞したが、幸い感染拡大を抑えることができ、引き続き、毎月5名の新規利用者の入所を進め、100名定員のところ、3月末で97名まで進めることができた。短期入所については、リピーターが特養に入所することで、新たに新規利用者の開拓が必要となり、64名の新規利用者を受け入れることができ、下半期の実績が増加し、3月の稼働は121.9%と高い数値となった。通所事業については、ここ数年の新型コロナウイルス感染症により、利用者の体調面、ADL等の低下やご家族の介護力の低下により在宅介護が困難となった事により、他のサービス（短期入所生活介護）への移行や施設入所が多く、ご利用者の出入りの多い年度となり、新規ご利用者の受け入れ人数が69名となった。

2. 各事業の稼働率

特養（83.2%）短期入所生活介護（89.1%）通所介護（66.1%）認知症対応型通所介護（79.1%）

3. 利用者サービスの向上と職員育成

2021年度東京都指導検査にて指導、改善を受けた内容（①施設サービス計画等を適切に作成し、施設サービス計画に基づいた介護サービスを行うこと②ケース記録を正確に記録すること）を改善する取り組みとして、計画書を作成し計画に沿って改善内容を職員全員へ周知し、それに伴う研修を実施した。ご利用者、ご家族の意見を計画に反映するため、サービス担当者会議に出席してもらい、共にサービス計画を策定する取り組みを行った。

4. 新型コロナウイルス感染症により、地域との繋がりが途絶えてしまう中、施設単体で感染症を踏まえた行事等を工夫してきたことから、その経験を有効に利用し、改めて、地域との関係づくりの構築に取り組んで行くことが今後、施設の役割として求められる。施設整備については、府中市と協議の上、施設の各出入り口の門扉の更新等リスク管理を強化するためにも計画的に進める。